



決意を述べる佐々木憲昭衆議院議員、かわえ明美、もとむら伸子 西田しずお各候補の写真
12日 名古屋・金山総合駅前

江南市自治基本条例か

まちづくり基本条例か

議会の特別委員会と市検討委員会が初の懇談会

江南市は市民参加と協働のまちづくりを推進しようと昨年1月から「江南市自治基本条例」の策定を公募市民を含む検討委員会に諮問し、昨年秋には検討委員会が「素案」をまとめ市長に提出しています。

議会も今年に入って任意の検討委員会を発足し、会議を重ね、5月からは「江南市まちづくり基本条例特別委員会」として検討をすすめてきました。

条例化を進めていくために、検討

委員会と議会との意見調整が必要だ

というところで、7月15日に懇談会が開かれました。朝9時30分から12時まで熱心な意見交換が行われました。

主なものは、条例の名称を「自治基本条例」とするか「まちづくり基本条例」とするかで、自治の基本理念を明確にするには自治基本条例にすべきという意見と、市民にわかりやすいことが大切、まちづくりの理念や原則を明確にすればよいのではないかなど、さまざまな見地から活

発な意見が出されました。

また条例の位置づけを「最高規範」とするか「基本の条例」とするかや、地域自治組織、住民投票などについても意見交換が行われました。しかし、市民参加と協働、市民が主役の地域社会を謳いながら、まだ全市民

を検討委員会の内容は江南市のHPとするか「基本の条例」とするかや、で会議の議事録等を見ることができ



公約実現に全力でがんばります。

参院選で比例・選挙区の候補者としてたたかったかわえ明美さん、もとむら伸子さんは7月12日の早朝には金山総合駅前で、佐々木憲昭議員とともに選挙戦でのお礼とともに公約実現に奮闘する決意を述べました。

参院選の結果、日本共産党

は比例で全国356万票余、愛知で169431票にとどまり、もとむら伸子さんは193710票で議席に及びませんでした。日本共産党は、この選挙の結果を重く受け止め、広く皆さんの率直な意見をお聞きし、次の選挙に生かす取り組みを始めています。ぜひ率直なご意見や要望をお聞かせください。



定数削減！！ あなたはどう思いますか

――商工会議所が議長に要望書を提出――

7月15日に江南市商工会議所から「江南市議会議員定数に対する緊急要望書」が議長あてに提出され、現在の24人を21人にするよう求めています。

しかし江南市の議員定数は上限30人に対し24人と6人も減っています。今年の国勢調査の結果を待たなければなりません。今年、住民基本台帳上でいけば人口は10万人を超えており、上限は34人になるところです。

に、市民の声が尚一層届きにくくなってしまっています。議員1人当たりの人口は2005年当時3591人でしたが、現在は4245人となり、3人減員すると4852人と市民にとって議会は遠い存在になってしまっています。議会改革に求められるのは、定数を削減することではなく、市民に開かれた議会、委員会活動の活性化や政策立案能力の向上、何でも賛成からチェック機能を発揮した緊張感あふれる議会ではないでしょうか。みなさんのご意見もお聞かせください。

参議院選挙の時も国会議員の定数削減を声高に叫ぶ政党がりました。議員定数を削減することは、議会のチェック機能が弱まるとも